

授業科目 相談援助論 I

【担当教員名】 鈴木 昭	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：GI0】
 社会福祉士を含むソーシャルワーカーの役割を学び、ソーシャルワークの意義と機能について理解する。
 相談援助を中心としたソーシャルワーク実践の概念や理念、範囲などについて理解する。
 社会福祉士として実践に必要な基本的な視点、考え方など相談援助職の基盤となる知識、技能、態度を習得する。

【学習目標・行動目標：SB0】
 1 社会福祉士、精神保健福祉士などソーシャルワーカーの役割と専門性、その意義について概説できる。
 2 相談援助の概念や範囲、理念、ソーシャルワークの基本視点、基本姿勢について概説できる。
 3 相談援助およびソーシャルワークの基本概念を実践過程に即して概説できる。
 4 相談援助における権利擁護の意義について概説できる。
 5 多職種連携とジェネラリスト アプローチについて概説できる。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション	1	社会福祉専門職とその仕事について考える
2	社会福祉士とソーシャルワーカー	1	第1章 社会福祉士の役割と意義
3	生活問題とソーシャルワーク	2	第1章 現代社会と地域生活
4	ソーシャルワークとは何か	2	第2章 ソーシャルワークの概念 ソーシャルワークの構成要素
5	ソーシャルワーク実践の基礎知識	2	基礎的な方法と実践過程 資料
6	ソーシャルワークの歴史 発生期	2	第3章 ソーシャルワークの源流
7	ソーシャルワークの歴史 確立期	2	第3章 ソーシャルワークの基礎確立期
8	ソーシャルワークの歴史 発展と展開	2	第4章 相談援助の形成過程
9	ジェネラリスト・ソーシャルワーク	2	第4章 相談援助の形成過程
10	ソーシャルワークの価値	3	第5章 ソーシャルワーカーと価値
11	ソーシャルワーカーの倫理	3	第5章 ソーシャルワーク実践と価値
12	ソーシャルワークと権利擁護	4	第5章 ソーシャルワーク実践と権利擁護
13	ソーシャルワークの基本 視点と姿勢		第6章 クライアントの尊厳と自己決定 ノーマライゼーションと社会的包摂
14	相談援助面接の基礎知識	5	
15	まとめ	5	総括と振り返り 専門的視点と技術について考える

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	6 相談援助の基盤と専門職	社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規	2012・2,600円＋税・最新刊
参考書	ソーシャルワーク実践の基礎理論 改訂版	北島英治 渡部律子 他編	有斐閣	2010・2,000円＋税
その他の資料				

【評価方法】 定期試験 出席態度 レポートにより評価する	【履修上の留意点】
---------------------------------	-----------